

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2012 No.24

inaokigakuen news letter



巻頭

新年度挨拶・80周年事業紹介

特集

「星稜オペラ」、開幕!

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryō 〜星稜の友〜

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

金沢星稜大学総合研究所だより

星稜 Information

今年も稲置学園に
「旅立ちの日」。

稲置学園各設置校で卒業式・
卒園式が執り行われました。



新しい年度を迎えるにあたり、大学、短大、高校、中学校、両幼稚園で学ばれる皆さんを心より歓迎いたします。

新しい環境の中で皆さんが充実した生活を送れますよう、学園の健全な継続とさらなる発展に教職員一同とともに取り組んで行きたいと考えております。

今年10月5日には、学校法人稲置学園は創立80周年を迎えます。

学生、生徒、園児、そして保護者の皆さま、もちろん教職員とともに創立80周年を迎えられることを大変嬉しく思います。また、これまで卒業生、地域の皆様にはたくさんのご支援とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

この創立80周年の節目の年に、私たち自身が長きにわたり受け継がれてきた建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を改めて認識し、「星稜」のもとで学ぶ方々のために一層の努力を惜しまず邁進していく所存であります。

そして、新たな星稜の人間教育へのスタートと学園に関わる全ての方々にとって飛躍の年となることを心より念じております。

学校法人稲置学園理事長 稲置 美弥子

～稲置学園創立80周年～

80th 未来を輝らす、 星稜の人間教育。

学園創立80周年記念事業

★ 記念式典

開催日：平成24年10月5日（金） 10：00～11：00
場 所：稲置記念館（5F・稲置講堂）

★ 記念館見学会

開催日：平成24年10月5日（金）
記念式典終了後（11：00～12：00）
場 所：キャリアデザイン館・メディアライブラリー

★ 記念祝賀会

開催日：平成24年10月5日（金） 18：00～20：00
場 所：ホテル金沢（2F・ダイヤモンドルーム）

★ 星稜教育シンポジウム

【学園教育シンポジウム】

開催日：平成24年10月5日（金） 15：00～17：00
場 所：ホテル金沢
内 容：幼稚園から大学まで、各機関の教育の特徴や今後の教育方針などについて語り合い、稲置学園の今後について共通理解する。

【国際シンポジウム】

開催日：平成24年10月6日（土） 10：00～12：00
場 所：稲置記念館
内 容：日本国内外で活躍している稲置学園卒業生が語る、現在の仕事の内容や稲置学園で学んだ頃の思い出などを聴き、稲置学園の存在意義を確かめる。

★ SEIRYO SPORTS DAY

開催日：平成24年10月27日（土） 13：30～15：30
場 所：稲置記念館（5F・稲置講堂）
内 容：フォーラム「星稜スポーツのDNA ～星稜スポーツの80年とこれから～」
星稜スポーツ宣言・星稜スポーツパーソン宣言
「星稜における今後のスポーツプロモーション施策と星稜の学生・生徒が高い意識を持って部活動に取り組むための行動規範を宣言。」

現在建設中の新館です。

学園同窓会主催記念事業

大学同窓会・短大同窓会・星稜同窓会・実践同窓会より実行委員を選出し、企画・運営を行います。

★ 星稜祭

開催日：平成24年9月22日（土） 11：00～20：00
9月23日（日） 10：00～16：00
場 所：広坂緑地（しいのき迎賓館横）
内 容：野外イベント『音楽コンサート模擬店出店など』

★ 稲置学園80周年を祝う会（仮称）

開催日：平成24年10月6日（土） 18：00～
場 所：ホテル金沢（2F・ダイヤモンドルーム）

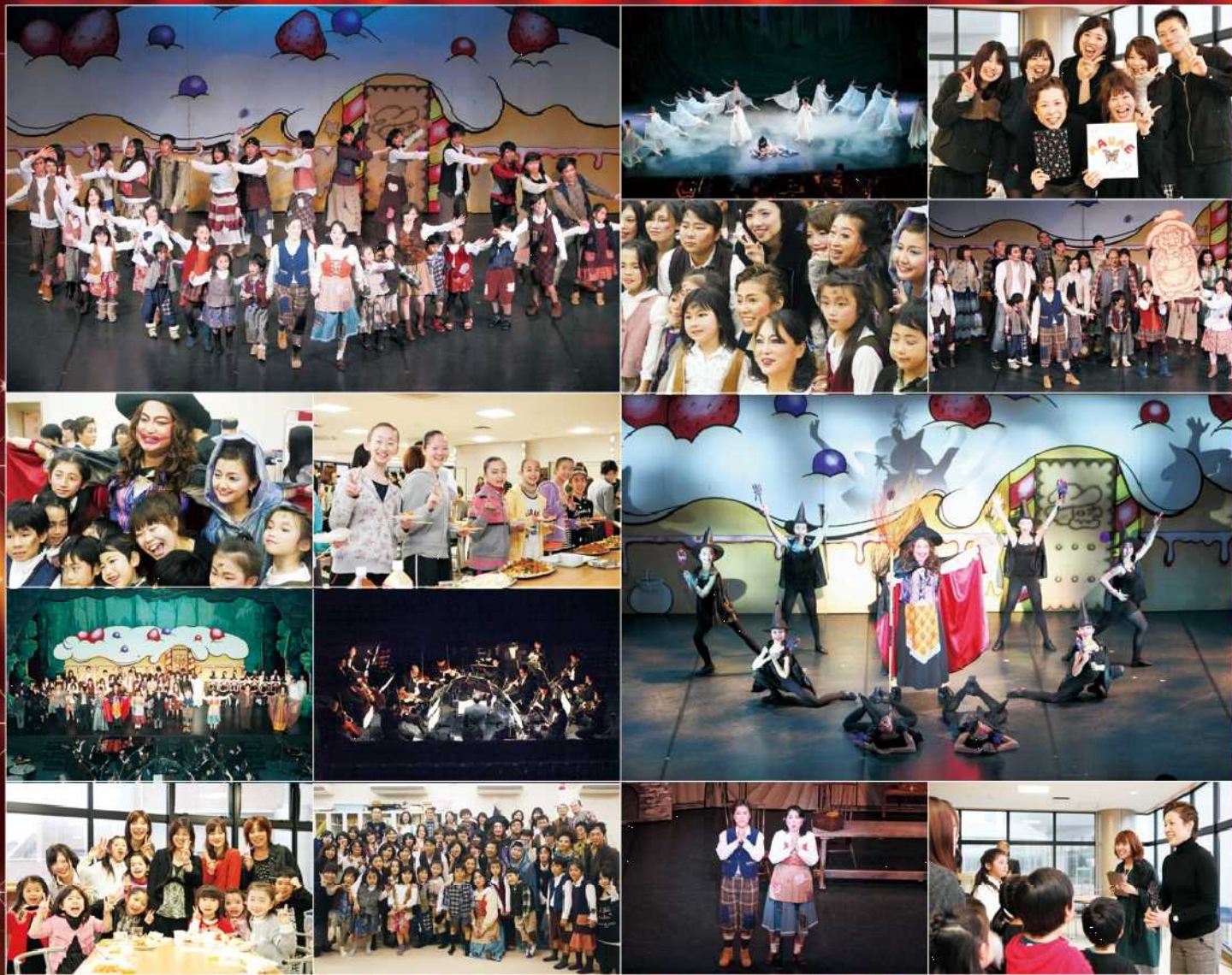


創立80周年オープニングイベント

「星稜オペラ」、開幕!

平成24年3月18日、「星稜オペラ」が開催され、大盛況・大成功のうちに幕を閉じました。

ここから稲置学園の創立80周年がスタートします。



**稲置学園が目指す
「これから」へのテーマ、
地域社会への貢献と
学園の一体化も成し遂げた
「星稜オペラ」**

学校法人稲置学園創立80周年事業のひとつ「星稜オペラ」が、平成24年3月18日(日)に稲置学園記念講堂にて開催されました。学園の卒業生・在校生・保護者・教職員などの出演者が、プロのオペラ歌手やオーケストラとともに「ヘンゼルとグレーテル」を好演し、ホールを埋めた約9000人の観客から大きな喝采を浴びました。

80周年記念事業として、「星稜オペラ」に込められた学園のテーマは「地域への貢献」と「学園としての一体感」です。地域社会に向けて質の高い芸術文化を発信すること、また学校の枠組みや立場を越えた参加者が力を合わせてオペラ公演という事業を成し遂げることを目指して、公演当日まで準備と練習を重ねてきました。

この日観劇に訪れたのは、子どもから大人まで幅広い方々。実際にオペラを観るのは初めてという方も多く、「地域社会への文化発信拠点でありたい」という学園の姿勢を実現するものとなりました。同時に、世代も立場もそれぞれの出演者たちが、講演終了直後に涙を流しながら互いに讃えあう様子も見られ、「より一体感のある学園へ」との思いも、ひとつの成果を挙げることができました。

「星稜オペラ」は、創立80周年のオープニングイベントと位置づけられています。今後またたくさんのイベントや新しい取り組みが行われていく予定です。それぞれに込められる、稲置学園の「これから」への思い。どうぞご期待ください。

稲置学園の皆さんと

この豊かな時間を共有できたことを
大変うれしく思います



星稜オペラ 舞台監督 藪西正道 氏

星稜オペラの公演を終えた今、「実に良い公演だった」というのが私の率直な感想です。演技も合唱も、総合的にレベルの高い舞台であったと思います。ホールの席を埋めつくした観客の皆さん、このオペラに出演した稲置学園の学生・生徒・園児・保護者の皆さん、また教職員の方々と、この豊かな時間を共有できたことを大変うれしく思います。

観客には幼いお子さんも多く、その子たちが舞台を真剣に見てくれたことが特に印象に残りました。私は常々、「オペラの素晴らしさを伝え、オペラファンを増やしていきたい」と考えています。今回の星稜オペラを通してこの地域の子どもたちに、またその保護者の方々にも芸術、音楽、オペラの素晴らしさを伝えられたことに大変満足しています。通常このようなイベントは幼い子どもたちの入場を制限することが多いのですが、今回それをしなかった学園の方々の判断もすばらしいものでした。創立80周年記念事業としてのテーマである「地域貢献」の観点から見ても、このプロジェクトは大成功だと言つてよいのではないのでしょうか。

もうひとつ、星稜オペラの準備や練習から本番までの長い間サポートしてくれた金沢星稜大学の学生スタッフの優秀さも強く印象に残っています。昨年の夏から始めた練習をさまざまな面から支えてくれ、サポートスタッフとしてうまく機能していたのがこの成功に大きく貢献しています。

公演が終わった直後に出演者やスタッフの皆さんが舞台の袖で涙している姿を見て、稲置学園のこの取り組みは、教育機関としてすばらしいことだとあらためて思いました。そして何より、この機会をいただいたことに私自身がとても感謝しています。ありがとうございました。

学園卒業生として出演



星稜高等学校卒業生
吉田和香さん

星稜オペラを通じて、
さらに「星稜愛」が大きくなりました

星稜オペラの本番は、本当にあつという間でした。今は「もう少し続けたかった」という気持ちです。

私が星稜オペラに出演した理由は、星稜中学校・星稜高校時代に合唱部に所属していたことと、自分の母校が大好きだからでした。星稜がオペラをやる、という話を聞いてぜひ私も参加したいと思ったんです。

幼稚園の子どもたちからずっと年上の方までの出演者が集まる練習は最初こそ戸惑いましたが、回を重ねるごとにどんどん皆さんと仲良くなれるのがとてもうれしかったですね。こうして本番が終わり、もうみんなと一緒に練習できないのかと思うと寂しいです。それぐらい充実した準備期間でした。

出演者のみんな、指導してくれた先生方、スタッフの皆さんなど、たくさんの方が協力してくださったからこそこの星稜オペラを成し遂げられたと思います。私は、星稜オペラを通じて、それまでも大好きだった母校をもっと好きになることができました。もし、もう一度機会があるとしたら、私は絶対にまた星稜オペラに参加したいと思っています。

在学生として出演



星稜高等学校1年
秋山文人さん

本番も、練習期間も。
とてもいい経験、いい勉強でした

本番前、いつも見慣れている稲置記念館のホールが壮大な舞台セットになっていたことに感動しました。その大舞台での公演を終えて、今とても大きな達成感を感じています。あれほどの大人数の前で合唱する機会はありません。とてもよい経験になりました。

練習が始まったばかりの頃は、合唱部なので歌は経験がありましたが、演技はまったく初めてなので難しく、とても苦勞しました。でも同じ出演者の皆さんから客観的な意見をもらったり、励まされたりしながら少しずつ上達していくことができました。また、最初は練習に参加している子どもたちが元気づけて戸惑うこともありましたが、練習で会うたびに仲良くなることで、途中からは自分から進んで子どもたちの面倒を見られるようになり、本番だけではなく練習も、また音楽の面だけではなく人間的にも、今回の星稜オペラはいい勉強になったと思っています。

スタッフとしてサポート



金沢星稜大学
オペラプロジェクト代表
有側愛恵さん

大学生活が終わる前日にもあった、
大切な思い出です

星稜オペラを成功させるためにサポートする「金沢星稜大学オペラプロジェクト」のメンバーとして活動してきました。6人の大学生メンバーで、オペラの練習が滞りなく進むように管理したり、出演者の皆さんの連帯を強めるためのレクリエーションを企画・実行したりと、裏方としてさまざまな活動をしてきました。

私たちは自分が出演するわけではありませんし、オペラに詳しいわけでもありません。それでも練習をサポートし、時には出演者の皆さんの役に立つ意見を言えるように一生懸命勉強しました。メンバー同士で考えが食い違い、ぶつかってしまっただけではありませんが、星稜オペラが成功に終わった今、すべてが思い通りです。このオペラに関わった皆さんの皆さんと長い時間を一緒に過ごせて本当によかったと思います。この星稜オペラの翌日、私の大学卒業式でした。大学生活4年間の最後に、一生忘れられない大切な思い出をもらいました。皆さん、本当にありがとうございました。



ご協力ありがとうございました！
当日、会場周辺の駐車場整理に金沢星稜大学サッカー部員の皆さんが協力してくるなど、多くの方々のサポートがあつてこそ「星稜オペラ」は成功を収めることができました。ありがとうございました。



自分の人生を 楽しく生きる人 になってほしい。

金沢星稜大学女子短期大学部

上田卓爾 教授



自信を持つ「たくましさ」と
人を思いやる「おおらかさ」と。

金沢星稜大学女子短期大学部（星短）で、観光学・ホスピタリティ・CS（顧客満足）などを教えています。星短での2年間で学生たちに身につけてほしいと考えているのは、一言で言えば「たくましさとおおらかさ」です。

もちろん、たくさんの新しい知識を学んでいくことも大切でしょう。しかし、社会人としてさまざまな場面で応用できる能力、詰まるところ彼女たちの人間性を磨いていくことが、社会に出るまでの「最後の砦」である大学・短大の使命だと考えています。

「たくましさ」とは、自信を持って胸を張り社会を歩んでいく力です。今の学生たちは優しく素直な反面、自分



講義で心がけているのは学生を萎縮させないこと。水を打ったように静かな授業は嫌いなんです。

から積極的に前へ出ることが苦手な傾向があるようです。4年制大学卒業者と一緒に社会に出ることになる短大生は、とすれば自分に引け目を感じてしまうこともあります。しかし実のところ、星短卒業生のように社会で役立つ実践的な能力を身につけ、資格や検定をたくさん持っている4大生は決して多くはありません。能力があるのに自信がないことで力を発揮できないのは非常にもったいないですから、いつも学生たちには「自信を持とう、できるんだから」と伝えていきます。自分の力を正當に評価でき、萎縮することなく社会で活躍できる女性になってほしいと思っています。

人生を楽しむために必要な、
知識以上のものを伝えたい。

「おおらかさ」もまた、星短卒業生たちが社会から求められる人材であるために重要な資質です。たとえば、ギスギスした職場の雰囲気を変えることができる人、その人がそこにいることによって周囲の誰もが救われるような人になってほしいと思っています。

言い換えればその能力は「人を思いやる心のゆとりを持つ力」です。その力を身につけることが、星短生たちがここでホスピタリティやCSを学ぶひとつの意味であり、私がそれを教える意味です。

もうひとつ、学生には私自身がひとりの研究者として、自分の好きな分野



の研究に取り組んでいる姿を見せるようにしています。私は日本近代観光史を研究しています。私の研究室を訪れる学生たちには「今こんな論文を書いている」とか「こんな文献を見つけた」という話をよくしています。そこから、より観光学に興味を持ってくれる学生もいますし、学ぶことの楽しさを肌で感じてくれる学生もいることでしょう。

大きな意味では、私が学生に教えたのは「自分の人生を楽しく生きること」に他なりません。社会人として、ひとりの人間として、自分の毎日を楽ししく生きていける人になってほしい。そのために、知識以上のものをひとりひとりの学生たちに伝えていきたいと思っています。

★ グッドマナー賞 受賞しました

2月26日(日)、本学池田ゼミナールが、マナー意識の高揚に功績があったとして「マナーをよくする かなざわ市民会議」から表彰されました。

池田ゼミナールは、東金沢駅で交通マナーを呼びかけたり、地域の公民館で高齢者への交通安全教室を開催したりと、地域の交通安全意識の向上のための活動を続けています。これらの活動が認められ、今回、他5団体4個人とともに表彰が決められました。表彰式は金沢市文化ホールにて行われ、ゼミを代表して上濱翔太郎さん(人間科学部4年次)が表彰を受けました。



★ 留学生 スピーチコンテスト

1月27日(金)、第9回留学生スピーチコンテストを開催しました。出場した7名の留学生は、留学生生活の苦労や日本の印象について日本語で堂々と発表しました。会場には谷村理事、坂野学長、小坂国際交流部長、馬場教授を審査員に迎え、教職員や学生も聴講

に訪れていました。審査の結果、受賞者は以下のとおり決定しました。受賞した宮さんと王さんは、2月3日(金)に北鳴中学校で行われた「立志の集い」に講演者として参加し、中学生との交流を深めました。

□最優秀賞

宮 茜(経済学部1年次)
「簡単にあきらめないで」

□優秀賞

王 婉黎(経済学部4年次)
「感謝」

□審査委員特別賞

モロゾフアレクサンドル(経済学部4年次)
「私が見た日本」



★ ジャンプチャレンジ 成果報告会

2月15日(水)、今年度ジャンプチャレンジ企画に採択された10グループが活動の成果を発表しました。発表したチームの中から、認定(継続)プロジェクトとして活動の継続を希望する4つのグループの審査も同時に行われ、また、大学コンソーシアム活動報告会も合わせて行われました。発表した学生たちは今年度の自分たちの活動や反省、今後の課題などを細かく分析し、パワーポイントなど使用して発表を行い、聴講に訪れた教職員や学生も真剣に聞き入っていました。



★ イルクーツク国立大学 との調印式

本学とイルクーツク国立大学は2001年に姉妹校協定を結んで以来、同学の編入生や短期留学生を本学に受け入れたり、海外社会実習の際に同学を訪問したりと交流が続けてきました。10年間にわたるこれらの交流を踏まえ、両大学はさらなる交流の発展をめざして新協定を結ぶことになりました。2月25日(日)、スミルノフ総長夫妻、シュエニン副総長を招き、ホテル金沢において新交流協定、新編入学協定調印式を執り行いました。調印式後は記念シンポジウムと祝賀パーティーも開かれました。



★ 山岳スキー部 全国大会出場

3月6、11日、第49回全日本スキー技術選手権大会に山岳スキー部の古川貴広さん(経済学部3年次)が出場することとなり、2月24日(金)に坂野学長より激励金が渡されました。

★ 短 スキー&スノーボード 研修を実施

1月5日(木)から7日(土)の日程で、長野県・穂池高原スキー場にてスキー&スノーボード研修を実施しました。上田卓爾教授と榎本雅之助教授の両先生の引率のもと、12名が参加し、スノーボードを体験しました。多くが初心者・初級レベルでしたが、初日に穂池スキー学校での習熟度別講習を受講したことや、滑りやすい雪質、また、初心者向けのなだらかなゲレンデのおかげで、みるみる上達し楽しく研修を終了しました。



短 2年生の
就職体験談を聞こう！

1月16日(月)のキャリアガイダンスで、「2年生の就職体験談を聞こう！」を開催しました。金融、住宅メーカー、冠婚葬祭、印刷の会社から内定を得た4名の2年生がバネリストとして参加し、就活で不安になった時の対処法や企業へのアピール点など、様々な体験談を具体的に語ってくれました。身近な先輩たちの内定獲得談とあって、1年生も興味深く聞いていました。1年生の就活はこれから本格的に始まりますが、これまで学んだことを活かし、充実した就活をしていくことを思います。



短 美しく・エレガントに
『テーブルマナーを学ぼう』

1月26日(木)、1年生対象の「エレガンスアップ」(担当:山川広美講師)の授業で、テーブルマナー実習を行いました。金沢ニューグランドホテルのフレンチレストラン「ロワ」にて、武田

功店長の指導を受け、ナイフ・フォークやナプキンの使い方を学びました。少しおしゃべりをして高級レストランに集まった学生たちは、優雅な雰囲気の中で、美味しいコース料理をいただきますながらテーブルマナーを学ぶことができて大満足でした。



短 『星短マナーコンテスト』で
楽しくビジネスマナーチェック

2月13日(月)に、「星短マナーコンテスト Ver.0.5」が開催されました。これは、「セルフプロデュース」「エレガンスアップ」「女性とビジネスマナー」などの人間・キャリア科目での成果を、皆で楽しみながら確認しようというプログラムで、ビジネスマナーの大切さを実感し、自身の成長につなげてもらうことを目的としています。

歓談中の上司へお客様が訪れた場合、課長の代理で急用の電話をかける場合など、12個のロールプレイ問題は、学生スタッフ、教員、事務職員が相談して作り上げました。

参加した学生たちは、緊張のせいかわoordを間違えるなど、頭ではわかっていてもうまく出来ないことや、やつてみることの大切さを理解しました。また、1年生は2年生のレベルに感心し、頑張って先輩たちに追いつきたいと感想を述べました。



短 アイルランド海外研修

2月14日(火)から24日(金)の日程で、アイルランド海外研修(担当:榎本雅之助教・辻建一准教授)が行われ、1年生6名、2年生4名が参加しました。学生たちはグループでダブリン周辺の名所旧跡を回るプランを立てて各所を見学し、現地の大学生との交流会では、ダブリンシティユニバーシティの学生や留学生と星短生が5つのグループに分かれて、英語で書かれたアイルランド料理のレシピを翻訳しながら一緒に料理をしました。ダブリン見学や料理交流会の後には、英語によるプレゼンも行いました。岩瀬加奈さん(2年生)は、「現地の方々との交流がとても楽しかった。上手く英語が話せなくても一生懸命伝えようとすることで親交も深まり、すごく自信がついた」と感想を述べました。



短 今村証券寄付講座
証券外務員講座開催

今村証券株式会社と星短女子短期大学間での相互協力体制に基づき、このたび「今村証券株式会社寄付講座 証券外務員対策講座」が開講されました。

金融商品取引業務で必須となる「二種外務員資格」の合格を目指す今回の講座は、2月16日(木)から24日(金)の一週間で35コマの授業を受講するという大変な講座ですが、証券外務員資格の取得を目指す星短大生5名、系列の金沢星稜大学生2名が熱心に受講しました。証券会社の実践的なプログラムを受講した学生たちは、検定試験合格に向けて手ごたえを感じてくれたようです。



★ 高3泊4日の修学旅行

12月6日(火)～9日(金)、1年生がコース別で修学旅行に行きました。勉強や部活動から開放され、団体で見学や体験をしながら、友達と有意義な時間を過ごした修学旅行でした。

各コースの主な行き先は、次のとおりです。

Aコース 東京

1日目は国立科学博物館、築地、最高検察庁or警視庁本部、パナソニックセンター、アクアシティお台場、東京都庁を周り、2日目は東京大学、早稲田大学の見学、東京湾クルーズ、劇団四季の「ライオンキング」観劇、3日目は東京デイズニースー、4日目は日光へ行きました。

Bコース 北九州

偶数クラスと奇数クラスに分かれ、偶数クラスの1日目はハウステンボ



ス、2日目はクラス別にキューピー味の素などの企業見学や、吉野ヶ里遺跡等の歴史体験、3日目は平和記念公園と長崎市内班別自主プラン、4日目は大宰府天満宮へ行きました。

奇数クラスはその逆の日程を周りま

Pコース 沖縄

1日目は美ら海水族館、2日目はマリン体験とナゴバイナツブルバーク、3日目はおきなわワールド、ひめゆり平和祈念資料館と首里城を周り、4日目は名古屋のリニア鉄道館に立ち寄りました。



★ 高3応援ありがとう！

12月21日(水)終業式の日、サッカー部の第90回全国高等学校サッカー選手権大会出場と、女子陸上部の第23回全国高等学校女子駅伝競走選手権大会出場に先駆け、激励会が行われました。なお、サッカー部は一回戦で鳥取の米子北に1-3で敗退し、女子陸上部は1時間13分18秒で34位と県勢最高の27位には届きませんでした。全員が一丸となり、できる限りの力を発揮してきました。皆様、応援ありがとうございました。



★ 高1、2年生講演会

1月21日(土)、1、2年生を対象に、株式会社アオキ代表取締役で東大阪市モノづくり親善大使の青木豊彦氏をお招きして講演会が行われました。演題は「まいど！宇宙を呼び寄せた町工場のおっちゃん物語」です。青木氏は中小企業が集まる東大阪市で人工衛星を打ち上げようと計画・実現へと導いた中心人物で、青木氏が講演を行なうようになったきっかけは、現代の若者に対し、ものづくりを

★ 高2年Pコース スノーボード実習

2月14日(火)～16日(木)、2年Pコースのスノーボード実習が長野県の栂池高原で行われました。始めからスイスイとボードを操る生徒がいるかと思えば、雪上で立つことさえ慣れない生徒もいました。夜はそば打ちにも初挑戦し、実習の最終日には、各自が思いどおりに滑ることができました。白銀の世界の中、滑ることが夢中で時間が経つのを忘れた課外実習でした。



する現場の仕事の面白さを理解してもらうためです。

青木氏は、「人との出会いが大切で、高校の3年間で一生付き合える友達をつくる」「まじめに一生懸命やれば必ず認めてくれる」「自分に誇りをもつ」と説きました。「おっちゃん」こと青木氏の熱い思いが生徒たちに通じ、拍手の音が会場内に鳴り響いていました。



★ 3年連続達成！

石川県高等学校体育連盟の平成23年度県高校総体総合優秀校に、本校が総合、男子、女子の全部門で3年連続最優秀校に輝きました。また、功労者としてトランポリンの西川明大先生、優秀選手としてトランポリンの石井純さん(3年)白坂健志さん(2年)角田瑞希さん(2年)村上碧さん(1年)佐竹玲奈さん(2年)寺西菜摘さん(1年)が選ばれ、団体で星稜女子トランポリン部(伊牟田萌、角田、佐竹、村上)が選ばれました。部活動における生徒一人一人の努力の結果が認められました。

★ 講演会

12月16日(金)、全校生徒を対象に、金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科准教授の杉林孝法氏をお招きし、『競技スポーツにおいて強くなるために・・・』星稜“は君を強くできるのか・・・?”と題して講演会が行なわれました。



★ かるた大会

12月17日(土)、毎年恒例のかるた大会が開催されました。数人のチームに分かれ、予選はリーグ方式、決勝はトーナメント方式で、学年別に競いました。生徒たちは、読み手が声を出した瞬間を狙い、誰よりも早く札を取ろうと意識を集中しました。ゲームをしながら日本の伝統の和歌のリズムと情感を身につけました。



★ スキー教室

2月16日(金)、一里野温泉スキー場にてスキー教室が行われました。1年生は最初は滑ることを不安に思っていたようですが、ストックの持ち方からひとつひとつの動作を教わるうちに徐々に慣れ、スキーというスポーツの楽しさを知りました。
2年生は昨年より滑りが上手くなり、3年生は中学生最後の楽しい思い出の行事となりました。



★ 優良部活動指導表彰者が2人！

全国大会などで上位入賞し児童生徒の指導に貢献した指導者に贈られる、平成23年度石川県優良部活動指導者知事表彰式が2月22日に県庁で行われました。

□岩下稔先生

サッカー・・・全国中学校大会優勝

□山崎麻衣先生

トランポリン・・・全国高校選手権大会
女子個人・男女シンクロ優勝

★ 12月からの主な部活動成績

星稜高等学校

第74回石川県耐寒継走選手権大会

●第2部 高校A組

優勝 田中 寛之、宮園 飛鳥、吉田 倫人、関戸 風音

●第3部 女子A組

優勝 牧川 恵莉、橋爪 悠希、濱田 優理、廣瀬 亜美

●第2部 高校A組

第1区 区間賞 井水 啓人
第2区 区間賞 宮園 飛鳥
第3区 区間賞 吉田 倫人
第4区 区間賞 関戸 風音

●第3部 女子A組

第1区 区間賞 牧川 恵莉
第2区 区間賞 橋爪 悠希
第4区 区間賞 廣瀬 亜美

●第4区 区間賞

優勝 木村 優布子、今井 由佳

●第2部 高校A組

平成23年度石川県高等学校総合体育大会
ダブルステニス選手権大会

優勝 木村 優布子、今井 由佳

●第2部 高校A組

平成23年度石川県高等学校総合体育大会
第48回石川県高等学校スキー選手権大会

男子総合 第2位
女子総合 第2位

男子アルペン総合 第2位
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

男子アルペン総合 優勝
女子アルペン総合 優勝

第24回石川県高等学校 ヴォーカルアンサンブルコンテスト会

●A部門

金賞 林田 詩織、橋本明香里
瀬川 咲樹、森 彩乃

●B部門

金賞 新酒 玲奈、拓、秋山 文人
小川 一樹、西田 創

金賞 林田 詩織、竹中 美咲
橋本明香里、森 彩乃

●C級戦

優勝 高信 敬

第三十七回石川県書き初めコンクール
入選 秋田 早智

星稜中学校
第42回金沢市中学生耐寒剣道練成大会

男子個人1年の部
第3位 北川 敬裕

女子個人2年の部
優勝 四郎丸美里

男子個人1年の部
第3位 北川 敬裕

女子個人2年の部
優勝 四郎丸美里

男子個人1年の部
第3位 北川 敬裕

女子個人2年の部
優勝 四郎丸美里

男子個人1年の部
第3位 北川 敬裕

女子個人2年の部
優勝 四郎丸美里

男子個人1年の部
第3位 北川 敬裕

女子個人2年の部
優勝 四郎丸美里

男子個人1年の部
第3位 北川 敬裕

女子個人2年の部
優勝 四郎丸美里

男子個人1年の部
第3位 北川 敬裕

女子個人2年の部
優勝 四郎丸美里





☆カブラ、おもしろいね☆

カブラ（細長い積み木）を積み上げて高くしたり、迷路を作ったり…。本も参考にしながら色々と工夫して作っています。高くなると椅子に乗り、ドキドキしながら横んでいます。崩れるとちよっと残念そうですが、またすぐに作り始める子どもたちです



☆鬼が来たよ☆

天気の良い日には園周辺を散歩し、落ち葉や木の実を拾ったり、風の冷たさを感じたりしました。ばんだ組の小さな子どもたちも散歩が大好き！たくさん歩けるようになりました。

☆雪がいっぱい積もったよ☆

園庭に雪が積もりました。築山から滑り降りたり、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりなど楽しみました。寒さなんてへっちゃら！元氣いっぱいの子どもたちでした。



☆みんなで豆まき！ 春よ来〜い☆

2月3日の節分の日に、プレイルームに集まってみんなで歌を歌ったり、先生たちの劇を見たりしました。この日は、オープンハウスのお友だちも一緒に豆まきを楽しみましたよ。「オニは〜そと〜ふくは〜うち〜！」と、元氣いっぱいの声が響き渡っていました。お腹の中、おこりんぼ鬼さんや泣き虫鬼たちも、子どもたちの声にびっくりしてぎっと逃げ出したことでしょうね。福の神が春を連れて来てくれる日が、待ち遠しいです。春よ来〜い！



☆雪あそびだ〜いすき☆

今年の冬は雪がどっさりと降りました。園庭が真っ白になり、子どもたちは元氣な子犬のように雪の中に駆け出していきます。友だちと力を合わせて大きな雪だるまを作ったり、歓声を上げて雪の上を走り回って雪合戦をしたりと、雪で思う存分に遊べて大満足！冬を満喫できました。



☆粘土で卒園制作☆

年長さんが園長先生といっしょに、粘土の感触を楽しみながら自分の顔を作ってみました。作っているうちに、どの子もそっくりになっていてビックリ！しばらく乾燥させてから、みんなで星稜大学のピアツア工房にでかけて、池上先生にいろいろとお話を聞いて、釜入れの様子を見られました。卒園制作の仕上がりが楽しみです。



アミティエセイリョウ
「Amitié Seiryō」は、フランス語で「星稜の友情」。
毎号星稜を支えてくださる各方面の方々をご紹介します。

多彩なフィールドで活躍する 星短の卒業生たち

加藤綾美さん(写真左)
岩田由里絵さん(写真中)
浦綾香さん(写真右)
ともに星短女子短期大学第29期卒業生



星短のOGである加藤さん、浦さんはミス百万石2011として、岩田さんは準ミス・インターナショナル2012としてそれぞれの舞台で活躍されています。今回はこの3人の方に、星短での学びが今の仕事にどのように役立っているかをうかがいました。

みなさんは今、何のお仕事をされていますか？

浦さん…私は金融機関で窓口を担当しています。また、加藤さんともう一人の方の3人でミス百万石として活動しており、仕事の合間をぬってさまざまなイベントに参加しています。



金沢信用金庫
浦綾香さん

加藤さん…3人そろって活動することは少ないとはいえ、年間で3人合わせて70回近く県内外のイベントに出席しています。ほぼ毎週、誰かがどこかに行っていることになりましたね。私は機械製造メーカーで経理を務めています。が、会社のご理解もありミス百万石としての活動ができています。

岩田さん…私はモデル事務所に所属しており、2012ミス・インターナショナル日本代表選出大会で準ミス・インターナショナルに選出させていただきました。いしかわ観光大使にも任命していただき、国内外で日本や金沢のよさをPRしています。

星短での学びで、今の仕事に生きていると感じることはありますか？

浦さん…一番はビジネスマナーですね。特に、立ち方やお辞儀の仕方は、ミス百万石の仕事にすごく役立っています。特に私の担当は窓口で日々お客様とお顔を合わせるもので、キチンとした挨拶などの基本は欠かせません。これらの基本が学生のうちに学べたのは大きな財産です。また入社直後の研修でも、一度短大で学んだ内容が多かったので落ち着いて受けることができました。



造谷工業株式会社
加藤綾美さん

加藤さん…私も同じです。これに加えて名刺の受け取り方、お茶の出し方なども学べたのは大きいですね。さら

に星短では、資格がたくさん取得できたのもありがたかったです。就職活動で履歴書の資格欄がいっぱいになると自信ができましたし、実際簿記の資格の知識は今の仕事に生きています。

岩田さん…私は学生時代からモデルをしていて、仕事が忙しく、短大は講義を受けたらすぐ帰ってしまうことがほとんど。それでも周囲の方がいるんな面でバックアップしてくださいました。海外で数分間英語のスピーチをしなければいけなくなったとき、先生が協力してくださってしっかりと準備でき、無事スピーチができました。学生と先生の距離が近いからこそ、このように親身になっていただけたと感謝しています。

みなさんの今後の目標を教えてください。

浦さん…ミス百万石として、金沢のよさをもっととアピールしたいです。この仕事を通して県外に出ることも増えましたが、前よりもっと金沢が好きになりました。ミス百万石は今年5月までですが、精一杯がんばりたいです。

加藤さん…私も、あと少しとなったミス百万石の活動に励みたいです。また社会人としてさらに成長できるように、レベルの高い簿記の資格取得に挑みたいと思っています。

岩田さん…準ミス・インターナショナルになって以来、海外での仕事もぐっと増えましたが、東日本大震災の影響もあり日本への観光客は減少傾向にあります。これを回復させるためのお手伝いが少しでもできるよう、日本のよさを海外の方に訴えていきたいです。そして私も金沢が大好き。自分を育んでくれたこの街のよさが一人でも多くの方に伝わるよう、PR活動に励んでいます。



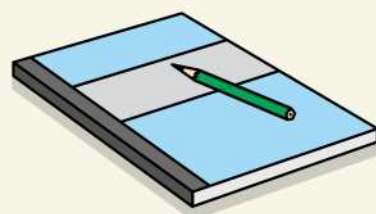
株式会社アドバンス
岩田由里絵さん

ナオトの力タミ



金沢星稜大学 人間科学部 教授
岡部昌樹

新学習指導要領がめざす「生きる力」の育成とは：



子どもたちの現状をふまえ、「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視する新学習指導要領が全面実施（小学校・平成23年度、中学校・平成24年度、高等学校・平成25年度の入学から、但し数学及び理科は平成24年度入学生から実施。幼稚園・新教育要領にもとづき平成21年度から既に実施されつつあります。

（注）学習指導要領とは、全国どの学校で教育を受けても一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているもので、教科書や学校での指導内容のもとになるものです。

これからの知識基盤社会の時代において、「生きる力」を育むという理念はますますその重要性を高めています。戦後、ほぼ10年サイクルで学習指導要領が改定されてきました（今次改定の基本理念である「生きる力」は旧学習指導要領から受け継がれています。）。現在、年次進行で実施されている新学習指導要領の理念は、マスコミで報道されているような「ゆとり」でも、「詰め込み」でもありません。あくまでも「生きる力」を具現化した「知・徳・体」のバランスのとれた力の育成にあります。

さらに改定の背景には、教育基本法の改正により、教育理念が一層明確化したことや学校教育法の改正によって、学力の重要な要素が規定されたことが挙げられます。

新学習指導要領の理念 ～生きる力～



●**確かな学力**とは、基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力。

●**豊かな人間性**とは、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など。

●**健康・体力**とは、たくましく生きるための健康や体力

改定のポイント ①

「学校で学ぶ内容がさらに充実」

- ・言語の力を使った思考力・判断力・表現力の育成を重視（全教科で）
- ・伝統や文化についての一層の理解促進（中学校での武道必修化等）
- ・理数の力の重視（算数・数学の内容改善、理科での観察・実験重視等）
- ・小・中・高を通じた英語教育の推進（小学校高学年での「外国語活動」の導入等）
- ・豊かな人間性を育むために体験活動を重視（小学校では集団宿泊体験、中学校では職場体験活動等）
- ・社会の進展に対応した教育の推進（環境教育、食育、消費者教育、情報教育等）
- ・学校の教育活動全体を通じての道徳性の育成（特に挨拶、規範意識、生命尊重、社会への主体的参画等）
- ・健やかな体（生涯にわたって運動を楽しむ内容等）

改定のポイント ②

「授業時間数の増加」

授業時間数の増加は、「詰め込み」への転換ではなく、「つまみ食い」内容の確かな習得をはかるための繰り返し学習」と「観察・実験やレポート作成、論述等において知識・技能を活用する学習」を重視した結果です。

・小学校では、国語・社会・理科・算数の授業時数が6年間で約1割増加します（週あたりの授業時数が1・2年生で週2時間、3・4年生で週3時間の増加）。

・中学校では、国語・社会・数学・保健体育・外国語の授業が3年間で約1割増加します（週あたりの授業時数は各学年で週1時間の増加）。

・高等学校では、卒業までの修得単位数（74単位以上）に変更はありませんが、週当たりの標準である30単位時間を超えて授業を行うことができるようになりました。

金沢星稜大学 総合研究所 だより

「大学・地域連携 アクティブフォーラム」 成果報告会

2月26日(日)、大学コンソーシアム石川主催・石川県共催の平成23年度の大学・地域連携事業の成果報告会が本多の森ホールで行われました。

活動に取り組んだ学生や地域の方々が一堂に集まり、活動成果報告を通して今後の大学と地域との連携のあり方を考える会です。

「地域課題研究ゼミナール支援事業」成果報告会で21件(内大学報告5件)

「地域貢献型学生プロジェクト推進事業」成果報告会で11件(内大学1件)

「大学・地域連携研究プロジェクト」成果報告会6件(内大学・



短大共同1件)の計38件の報告会でした。

報告会に先立ち、コンソーシアム熊本の国立大学法人熊本大学学長特別補佐 大川千寿氏が、熊本と金沢の共通点、そして、若い学生が地域を活性化させる。大学と地域の連携の重要性を語りました。

成果報告は、3会場に分かれ、質疑応答を含む15分間の発表時間で行われました。石川コンソーシアムの中村信一会長からの「日本を元気にするには地域を元気にすること。」とのコメントを体現する活動成果を学生たちは堂々と報告していました。どの報告もしっかりと練られたものとなっており聴衆を飽きさせず、時間の長さを感じさせないものでした。また、休憩時間には、別のゼミ生同士で楽しく語っている場面も多く見られました。その後、地域貢献活動が行われている地元の方、地域で学び、活動する学生・学生OBをパネラーに迎え、パネルディスカッ



ション大学・地域連携フォーラムが行われました。

地域の代表として七尾市小牧壮年団の加賀淳一さんが人口減少による祭りの遂行の困難さ、地域が持つ根深い問題、を語ってくれました。学生の地域貢献がどれだけ感謝しているか話され、活動を続けている学生の励みとなったと思われます。

その他、NPO法人加賀市観光ボランティア大学長の竹本利夫さんが話の中でこんなに立派なイベントだと思わなかったとざつくばらんにおっしゃり、会場は笑いに包まれました。

その後、しいのき迎賓館に場所を移して行われた合同交流会

では、本成果報告会の表彰式が行われ、当大学の池田ゼミナール・石川県立大の垣花ゼミナール連携の「穴水町の地域資源を活かした総合型地域スポーツクラブ設立へのアプローチ」が優秀賞をいただきました。

最優秀賞には石川県立大の垣花ゼミナール、もう1点の優秀賞には金沢工業大学の谷ゼミナールの活動が選ばれました。

会場には、軽食が用意され、地域の方々とリラックスしながらの情報交換会が行われ、一時間の時間があつという間に過ぎてゆきました。

年に一度、県が行う大規模な合同発表会に参加でき、学生たちも一生懸命活動してきたのだという実感が持てた一日だと感じました。



表彰結果

優秀賞

【地域課題】

●池田幸應ゼミナール

「穴水町の地域資源を活かした総合型地域スポーツクラブ設立へのアプローチ」石川県立看護大学 垣花渉准教授と連携
(発表者：3年生 鈴木豪論、舟川珠里)

奨励賞

【地域課題】

●池田幸應ゼミナール

「地域環境を活かしたゲートウェイ機能促進策の検討」
—加賀市におけるCANBUSと地域資源との密接化—
(発表者：4年生 小林雄作、山岸香央里)

●小坂修ゼミナール

「能登島における耕作放棄地活用ならびに観光資源開発のための活動」
(発表者：4年生 海道隆志、池田雅史)

●大藪多可志ゼミナール

「道の駅(珠洲市)を活用した効果的な観光プロモーションやイベント開催についての提案」
(発表者：3年生 角桃代)

●池上奨ゼミナール

「珠洲市狼煙町横山地区での、案山子の作成、生き物調査、祭りの復活などを通して、地域の共同体活動を活性化させるための取組課題」
(発表者：3年生 羽場史江)

【地域貢献型】

●井上明浩ゼミナール

「ユラアイト競技会の試み
—全国健勝マラソン加賀温泉郷大会をモデルとして—
(発表者：3年生 田口浩平)

以上

【大学・地域連携研究プロジェクト】

●金沢星稜大学・星稜女子短期大学
安藤信雄准教授
「過疎地域(能登島)の特産品開発による産業創造プロジェクト」

学園創立 80 周年記念事業「寄附金募集」について

本学園は、平成 24 年（2012 年）に創立 80 周年を迎えるにあたり、学園各設置校に在籍する学生・生徒・園児が満足な学園生活を送ることができるよう、更なる教育環境の整備・改善、就学援助の充実、課外活動の支援等に取り組んでいきたいと考えております。これらの取り組みのため、同窓生・保護者・教職員並びに有志の皆さまから広くご寄附を募ることとなり、平成 23 年 2 月より寄附金募集を開始いたしました。趣旨にご賛同いただいた多くの皆さまからのご厚意に心より感謝申し上げます。寄附金事業は平成 24 年 9 月まで実施いたします。このほかに記念史の編纂、記念行事の実施、記念館の建設を記念事業として実施する予定です。

皆様のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

学校法人稲置学園理事長 稲置 美弥子
学園創立 80 周年記念事業企画・実行委員長
学校法人稲置学園理事 稲置 慎也

寄附者ご芳名（五十音順・敬称略／2011.12.1～2012.2.29 受付分）

同窓会	一般（個人・法人）	学園役員・職員
助 政樹	(株) JTB 中部金沢支店 塚原克彦	荒川 徳人
市井 健人	味処新潟 徳本伊佐子	池上 奨
伊藤 正浩	(株) うつのみや 宇都宮元樹	稲原 泰平
岡野 航	大岩根 浩一	浦野 勲
神谷 未希	(株) 柿本商会 柿本自如	大野 倫子
木浦 孝紀	金沢自動車振興(株)	大宮 弘一
木浦 宏紀	ドライビングスクールエクシール城東	木浦 英二
小谷 和俊	北川ヒューテック(株) 北川真	木浦 和美
佐久間 裕	北藤 峰雄	北川 良
佐道 翔太	(株) コーシン 谷内信夫	澤 信俊
白川 紳吾	清水建設(株) 今木繁行	沢野 伸浩
鈴ヶ嶺 陽子	シンコー(株) 緩詰良彦	高光 哲也
隅田 外枝	高沢 優喜子	永坂 正夫
星稜女子短期大学同窓会	中部緑地(株) 後秀夫	中村 雅秀
高木 基弘	(株) トーケン 根上健正	西川 義博
高橋 賢治	戸田建設(株) 今井雅則	馬場 治
竹嶋 市子	(株) ラベルシティ 北敏一	原田 奈緒
田村 圭三	中村 茂和	春本 裕雄
福田 欣司	日本 ERI(株) 金沢支店 小杉俊明	本田 実
福田 優斗	北陸通信工業(株) 辰川伸一	道下 知子
明姓 外弘	丸善(株) 金沢支店 山上啓	
山口 博之丞	(株) 三井住友銀行金沢法人営業部	ほか匿名 1 名
	(株) 山岸製作所 山岸晋作	
	(株) 山善 山本宏治	
ほか匿名 5 名		
保護者会	ほか匿名 2 名	旧職員
間 一英		木坂 信
今村 健作		寺田 利恵子
日下 一也		中川 千代子
児玉 弘司		槻 信孝
駒田 秀一		
田嶋 武昌		
ほか匿名 7 名		

■集計表

平成 24 年 2 月 29 日現在

区 分		寄 附 金	
		件 数	金 額
同窓会	1. 大 学	159	15,127,100
	2. 短 大	40	3,295,000
	3. 星 稜	328	3,143,000
	4. 実 践	92	1,277,000
	小 計	619	22,842,100
保護者会	5. 大 学	178	1,457,000
	6. 短 大	24	518,000
	7. 高 校	298	3,810,000
	8. 中 学	29	310,000
	9. 幼稚園	9	65,000
一 般	小 計	538	6,160,000
	10. 個 人	28	520,000
	11. 法人(会社等)	34	11,660,000
	小 計	62	12,180,000
役員・職員	12. 学園役員	12	9,105,000
	13. 専任職員	103	6,865,000
	14. 旧役員・旧職員	15	320,000
	小 計	130	16,290,000
	合 計	1,349	57,472,100

星稜女子短期大学の校名変更について

星稜女子短期大学は平成 24 年 4 月 1 日より、金沢星稜大学女子短期大学部へと校名を変更します。また同年秋より金沢星稜大学と同じキャンパスへ移転します。



「星稜サ・エ・ラ」読者アンケートにご協力ください。

今号には、「星稜サ・エ・ラ」読者アンケートを同封していますので、皆様のご意見ご感想をお寄せください。いただきましたご意見は今後の内容改善に活かしてまいります。アンケートにご回答いただきました方、先着 100 名様に図書カード（500 円分）をプレゼントいたします。ご協力をよろしくお願いいたします。

先着 100 名様に
図書カード（500 円分）をプレゼント！

行事スケジュール (4月～6月)

金沢星稜大学

4	1日(日)	入学式
	3日(火)	新入生ガイダンス
	4日(水)・5日(木)	新入生学外研修(山中研修)
	6日(金)	前期授業開始
	6日(金)～13日(金)	履修登録期間
	7日(土)	新入生歓迎祭
	16日(月)・17日(木)	テキスト販売期間
	18日(水)・19日(木)	履修登録確認・修正期間
5	24日(火)・25日(水)	履修登録削除期間
	1日(火)・2日(水)	休講日
	26日(土)	保護者懇談会・稲友会総会

金沢星稜大学女子短期大学部

4	2日(月)	入学式
	3日(火)・4日(水)	新入生オリエンテーション
	5日(木)	Sei-Tan Act!
	6日(金)	前期講義開始
	6日(金)～12日(木)	履修登録期間
	7日(土)	保護者懇談会
	21日(土)	体育祭
5	1日(火)・2日(水)	休講日
	25日(金)	補講日
6	17日(日)	1年生秘書検定受験
	30日(土)・7月1日(日)	北陸三県私立短期大学体育祭

星稜高等学校

4	7日(土)	始業式
	9日(月)	入学式
	10日(火)	新入生研修会
	17日(火)～20日(金)	内科検診
	20日(金)	薬物乱用防止講演会(1,2年)
	21日(土)	身体計測
	23日(月)	遠足
5	15日(火)～18日(金)	中間試験
	18日(金)	総体・総文激励会
	19日(土)	PTA総会、保護者対象講演会
	25日(金)	避難訓練
	31日(土)～6月3日(日)	石川県高等学校総合体育大会・総合文化祭
6	5日(火)～8日(金)	歯科検診

星稜中学校

4	7日(土)	始業式
	9日(月)	入学式
	11日(水)	新入生研修会
	12日(木)	交通安全教室、自転車通学説明会
	23日(月)	遠足
5	19日(土)	PTA総会
	22日(火)・23日(水)	中間試験
	25日(金)	避難訓練
6	1日(金)・2日(土)	写生大会
	15日(土)	県体激励会

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

4	9日(月)	始業式
	14日(土)	入園式
	21日(土)	保護者会総会
	25日(水)	オープンハウス
5	12日(土)	保育参観、クラス懇談会
	23日(水)	親子バス遠足
	24日(木)	オープンハウス
	25日(金)	オープンハウス
	31日(木)	避難訓練
6	4日(月)	プール開き、星稜大学教育実習開始
	16日(土)	個人懇談会
	20日(水)	アスレバール石川
	21日(木)	アスレバール石川予備日
	22日(金)	観劇
	26日(火)	オープンハウス
	27日(水)	オープンハウス
	30日(土)	個人懇談会

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

4	10日(火)	始業式
	14日(土)	入園式
	26日(木)	誕生会参観
	27日(金)	保護者会総会
5	22日(火)	親子バス遠足
	29日(火)	オープンハウス
	31日(木)	オープンハウス
6	4日(月)	星稜大学教育実習開始
	16日(土)	個人懇談会
	20日(水)	アスレバール石川
	21日(木)	アスレバール石川予備日
	26日(火)	オープンハウス
	27日(水)	オープンハウス
	30日(土)	個人懇談会

あとがき

季節がかわり、大雪だった数ヶ月前が嘘のように、清々しい日が続きます。先日、大学の卒業式があり、去年のオープンキャンパスで一緒に汗を流した4年生が本学を卒業し、新たなスタートラインに立ちます。みんなをまとめていたあの子、一生懸命に走り回っていたあの子、就職してから大学生活での経験を忘れずに頑張してほしいです。そして、今年の新入生のみなさんには、これから始まる4年間の大学生活を楽しく、有意義なものにしてほしいと思います。いろいろなことに挑戦し、いろいろな経験をして自分を磨く大切な4年間にしてください。

金沢星稜大学 入学・広報センター 山川 洋平



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
TEL 076-253-3924(代表)
<http://www.seiryo-u.ac.jp>

金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町西1
TEL 076-253-5900(代表)
<http://seitan.seiryo.ac.jp/>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町東27
TEL 076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL 076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>